

山岳救助隊ニュース

令和5年第10号

発行: 令和5年10月19日
埼玉県警察本部 地域部地域総務課

山岳遭難発生状況 (令和5年10月末現在)

75件87人(+7件+10人)・死傷者44人 (死亡6人、負傷者38人)

【ヤマレコ】 × 【埼玉県警察】

県警は、10月12日に登山地図アプリ「ヤマレコ」と連携協定をしました。

今後は、遭難者（ヤマレコ利用者）の位置情報を**夜間・休日等問わず即時照会**ができるようになり、迅速な救助活動の展開が期待されます。

また、ヤマレコの「**山岳遭難マップ**」で、**埼玉県内の遭難情報を確認**することができるので、登山の参考にしてみてください。

「山岳遭難マップ」には、**県警ホームページ**

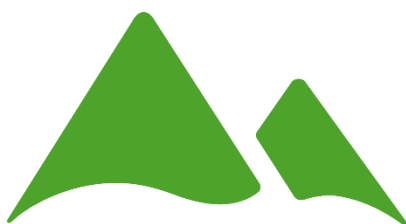
「暮らしの安全 → 山岳情報 → 山岳遭難発生情報」からアクセスできます。

登山地図アプリは、登山の前に**地図をダウンロードしておくこと**で、**携帯電話が圏外でも画面上で現在地を確認**することができる**とても便利なツール**ですので、ぜひ活用してみてください！



【協定締結時の状況】

左 株式会社ヤマレコ 代表取締役社長 的場一峰氏
右 埼玉県警察 地域部長 上條浩一



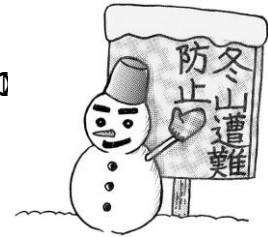
YamaReco



冬の登山の注意事項

冬の山は、小さな油断が大きな事故に繋がるおそれがあります。予想外な事が起きないように自分の体力やレベルを考えて登山計画を立てるようにしましょう。以下の点に注意し、安全登山を心掛けましょう！

- 早い時間に出発し、目的地に早く到着（早出早着の基本を守る）
- 予想外の天気、気象遭難に注意☀️☁️🌧️
- 緊急時に備える→万全な装備と寒さ対策📱🔋📢
- 登山道の凍結に注意🧊
- 登山届を必ず提出📄



低体温症のお話

低体温症は、深部体温（脳や内臓などの身体内部温度）が 35℃未満に低下する事を言い、健康な人も風雨に曝される事により引き起こす可能性があります。人は熱生産よりも熱の喪失が多くなると深部体温が低下し、深部体温が 30℃以下に低下すると心停止のリスクが高まります。

山岳地帯では、疲労と寒冷によるものが多く、エネルギー不足の状態では熱を生産する事が難しいため、厳しい寒冷環境でなくても低体温症になりやすいと言われています。休憩時は

- できるだけ風が避けられる場所を選定する（必要によりテントやツェルトを使用）
 - 防寒衣で体を冷やさないようにする
 - 携行食でエネルギーを補給する
- 事を実践し、無理のない登山を心掛けましょう。



～山岳遭難情報はコチラ！～

情報発信

エックス（旧ツイッター）で山岳遭難情報や登山する注意事項などを随時発信していますので、参考にしてください。

アカウント：埼玉県警察本部地域部地域総務課
@spp_chisouka



～採用情報～

山岳救助隊・ポリスワークセミナー開催中

・山岳救助隊の活動に特化した体験型のセミナーを毎月、秩父警察署で開催しています。受験生ほか、家族・友人の方も一緒に体験できますので、ぜひ参加してみてください。

・お問い合わせ

埼玉県警・地域総務課 048-832-0110

～登山届はコチラ！～



山と自然ネットワークコンパス
Compass

<https://www.mt-compass.com/howto.php>

全国山域の登山届がひとつの窓口で提出できます。



登山計画の提出が
手軽で簡単

利用者数No.1登山地図GPSアプリ YAMAP

